

## 第 50 回日本看護学会—慢性期看護—学術集会を終えて

令和元年11月14～15日に第50回日本看護学会—慢性期看護—学術集会を鹿児島市民文化ホール/ホテルウェルビューかごしま/鹿児島サンロイヤルホテルの3会場で盛会に終えることができました。演題数が423（口演：126、示説297）、3,148名の参加者でした。県内外からご参加頂きました皆様に心からお礼申し上げます。

秋晴れに恵まれた二日間で、2年に渡る準備に天が下さったご褒美と思われました。県外からの参加者には、青い錦江湾と雄大な桜島の眺望が何よりの「癒し」であったと言葉も頂きました。

来賓に三反園訓知事はじめ各職能団体の代表者の方々をお迎えし、超高齢化社会を担う看護職に熱いメッセージを頂きました。

県内からは160名を超える協力員のご支援を頂きました。お一人おひとりにお礼を申し上げたいところですが、この報告書をお礼状に変えさせていただきます。そして、ご理解・ご協力頂きました各施設の管理者の皆様にも心から感謝申し上げます。この鹿児島の地で目指す慢性期看護の未来を共に語り合えたことに感謝申し上げます。



写真1 慢性期看護学会学会関係者全員  
「Nursing Now（ナースンゲール生誕200周年キャンペーン）」



公益社団法人鹿児島県看護協会  
会長 田畑千穂子氏挨拶



公益社団法人日本看護協会  
副会長 齋藤訓子氏挨拶  
公益社団法人鹿児島県看護協会